

# Cover Story

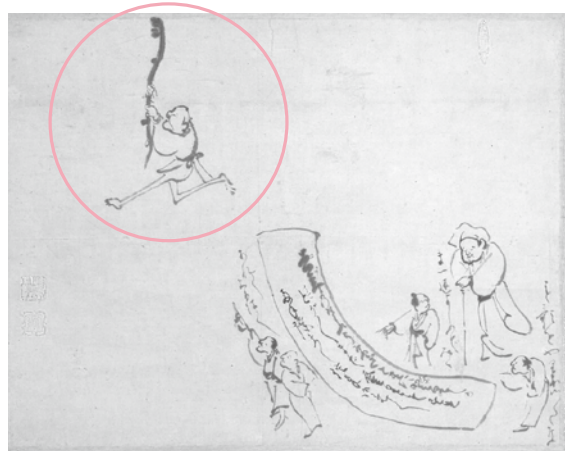
禪と庭のミュージアムが禅学者・芳澤勝弘氏監修のもと、収集/展示を行う白隠コレクション。毎号、1点の禅画/墨蹟を取り上げ、その絵の魅力を紐解いていきます。

## 今号の画題

### うなぎ 「鰻のぼり」

男が鰻をつかもうとすればするほど鰻はのぼり、とうとう天にまで  
のぼったところ。天から降ってきた短冊には、「気づけば1年前  
に鰻とともにのぼり、今も両手を離せず、この手紙も人に書いても  
らっている」とあり、それを見て噂をする人々が描かれている。

白隠慧鶴禅師(1685~1768年)  
日本臨済禅中興の祖。現在、日本に伝わる臨済禅の法系はすべて白隠  
下にある。達磨やおかめ、すたす坊主といった、その時代の庶民にも伝  
わるモチーフを禅画に取り込むことで、教えを広く伝えていった。



## はじめての 白隠 ①

白隠の禅画は、「禅」の教えを  
奥深く含んでいます。パッと見る  
だけではわからない、追えない。そんな絵に入り込むべく、禅学者・  
芳澤先生に、白隠初心者・Sくんが質問を投げかけます!



Sくん 先生! まるで漫画みたいな絵ですね。  
先生 ああ、これは江戸時代の笑話を集めた本にもある、当時は  
誰もが知っているような物語を絵にしたものです。  
Sくん うーん。素朴な質問なんですけど、どのあたりに「禅」の要素が  
あるんですか? 例えば、「鰻のぼり」って今でも使われる言葉ですよ。  
先生 「株価が鰻のぼり」とか「物価が鰻のぼり」とかね。でも江戸  
時代は、少し違う意味だったんですよ。ある男が1人の女性を好きに  
なりましたんだけど、その心を抑えようとするほど「鰻のぼり  
に」のぼせあがってしまう、というように使われた。そういう用例が、江  
戸時代の小説なんかに見える。つまり、抑えようとするほど高  
まってしまう欲情、欲望の象徴ですね、この鰻は。

「描いてあることだけでなく、  
描いていないことを見るのも大事!」

Sくん へえ〜。そんなネタをなぜ……。  
先生 禅のテーマは「心とは何か」。白隠はよく知られた笑話を  
絵にして、心とは何かと追求すればするほど離れていってしまう、そんな  
心模様を表現しているんですね。  
Sくん そうなんだ……。時代背景や言葉の意味を知った上で見な  
いと、読み取れないんですね。  
先生 ただ上っ面だけを見ていたら気  
づかない。画面の下には、天から降って  
きた手紙を見て、いろいろ噂をしている  
人たちがいますが、これは問題の核心に  
気づかない野次馬みたいですね。君も



この禅画を床の間に掛けて1年間見続けたら、何かに気づくかもしれ  
ないね。「おもしろい絵だな」で終わった + + +  
ら、やっぱり野次馬だ。  
Sくん うう、1年……。先は長いなあ。

白隠を知るにはまだまだ勉強不足……。その2へつづく



Illustration: Kenji Yamamoto

## ひ昌 と子 皿の



平昌子/本ミュ  
ージアム・プレス担当。  
福山の食事情を  
日々調査中。



## 「阿じ与志」の焼き渡り蟹

毎朝、お店の大将が尾道の  
漁港で吟味し、その日に出品  
される内子(卵)たっぷりの渡  
り蟹。その濃厚な味わいは、  
蟹料理数あれどもとびきり!  
お店に出るのは11月末〜2  
月初旬のこと。締めはもろ  
甲羅酒で。

魚料理 阿じ与志/広島県福山市昭和町10-6 日曜・年末年始・田盆

## 「禪と庭のミュージアム」を もっと楽しむための 1冊



### 『余白の芸術』

著・李禹煥  
みすず書房(2000年)

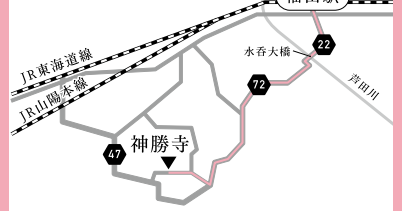
選書してくれたのは  
かみ添 嘉戸浩さん



ミュージアムショップのグッズも手づくりしています

「芸術への接し方が書かれた名著。私たちの作品体験  
はどこから始まるのか。周囲の山や庭、森といった鑑賞  
環境も含めた「もの」の経験の仕方」に気づかれます!」

## ACCESS



神勝寺 禪と庭のミュージアム  
関西/九州方面ともに東海道・山陽新幹線でJR「福山駅」  
下車。車で神勝寺へ(所用時間約25分)。もしくはJR「福山駅」  
の駅バス6番乗り場より「みろくの里直行」乗車、「神勝寺」  
下車(土日祝のみ/所用時間約30分)。